

平成 28 年度 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

「平成 28 年度財務諸表に対する注記」に記載しているため省略する。

2. 退職給付引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
退職給付引当金	509,999	239,999	409,998	340,000
合 計	509,999	239,999	409,998	340,000

以上

平成28年度 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
有価証券（国債・自由金利型定期預金）は原価基準を採用している。
- (2) 引当金の計上基準
常勤役員の退職給付引当金
- (3) 借入金の限度額
百万円を上限としている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分	科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	国債	31,015,899	0	0	31,015,899
	自由金利型定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
	小 計	41,015,899	0	0	41,015,899
特定資産					0
	退職給付引当金	509,999	239,999	409,998	340,000
	小 計	509,999	239,999	409,998	340,000
合 計		41,525,898	239,999	409,998	41,355,899

3. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

基本財産及び特定財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分	科 目	当期末残高	(うち、指定正味財産からの充当額)	(うち、一般正味財産からの充当額)	(うち、負債に対応する額)
基本財産	国債	31,015,899	(0)	(31,015,899)	—
	自由金利型定期預金	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
	小 計	41,015,899		(41,015,899)	—
特定資産					
	退職給付引当金	340,000	—	(0)	(340,000)
	小 計	340,000	(0)	(0)	(340,000)
合 計		41,355,899	(0)	(41,015,899)	(340,000)

4. 担保に供している資産

なし

5. 保証債務

なし

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益（3月31日現在）

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
国債（利付国債5年第108回）	10,960,639	11,027,500	66,861
国債（利付国債5年第125回）	20,055,260	20,180,000	124,740
合 計	31,015,899	31,207,500	191,601

以上